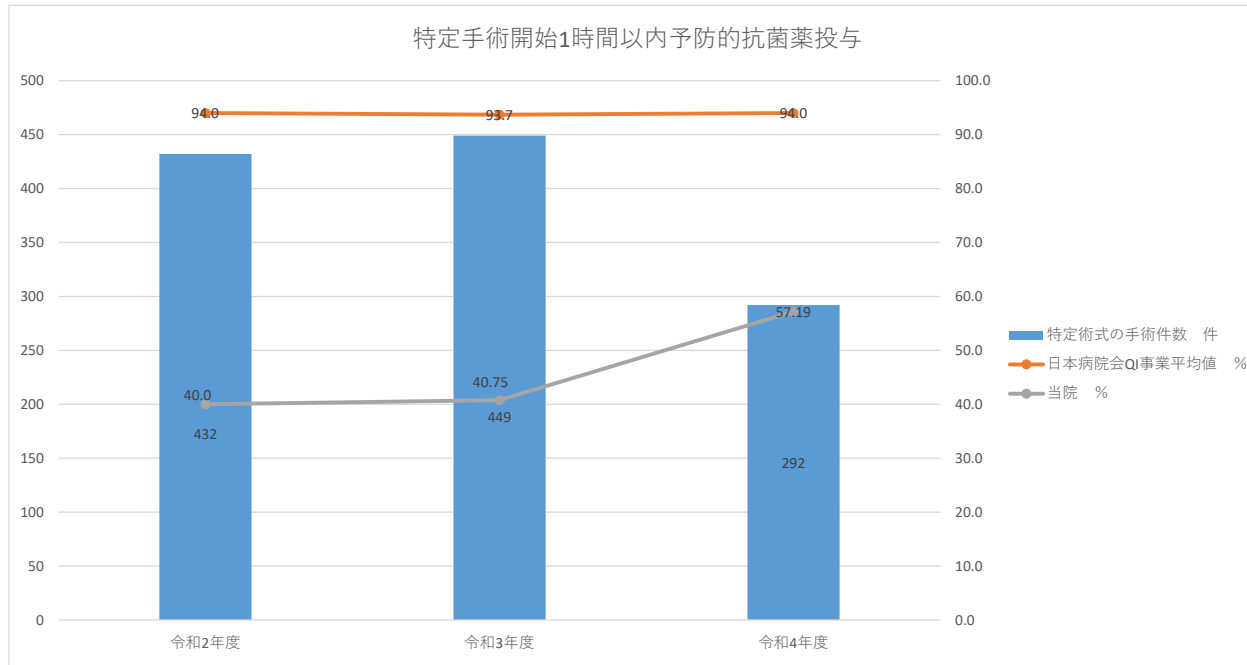


特定手術開始1時間以内予防的抗菌薬投与



計算方法

分子	手術開始1時間以内に予防的抗菌薬が投与された手術件数
分母	特定術式の手術件数 (特定術式：冠動脈バイパス術、そのほかの心臓手術、股関節人工骨頭置換術、膝関節置換術、血管手術、大腸手術、子宮全摘手術)
除外	<ul style="list-style-type: none"> ・入院時年齢が18歳未満の患者 ・在院日数が120日以上患者 ・帝王切開手術施行患者 ・臨床試験・治験を実施している患者、術前に感染が明記されている患者 ・全身／脊椎／硬膜外麻酔で行われた手術・手技が主たる術式の前後3日（主たる術式が冠動脈バイパス術またはそのほか心臓手術の場合は4日）に行われたもの（日数計算は麻酔開始日／麻酔終了日を基準とする） ・外来患者

指標の解説

- ・手術後の手術部位感染（SSI）予防対策のひとつとして、手術前後の抗菌薬投与があり、手術開始から週リユ2～3時間まで、血中および組織中の抗菌薬濃度を適切に保つことで手術部位感染（SSI）を予防できる可能性が高くなります。このため、手術執刀開始1時間以内に適切な抗菌薬を静脈注射することで、手術部位感染（SSI）を予防し、入院期間の延長や医療費の増大を抑えることができると考えられます。
- ・感染により治癒遅くなることで、患者さんの負担が増えないよう、当院であらゆる手段を講じて感染防止に努めています。